



仁淀川町

2016.5 第43号

議会だより



西森常晴 新議長

2016年3月定例会

三
月
定
例
会

議長就任挨拶・議会組織の変更	2P
議長一口メモ!	2P
町長行政報告（ひとりひとりが輝くまちづくりほか）	3P
教育長行政報告（教育委員会制度がスタートほか）	4P
一般質問（暴風雨・雪対策、過疎・減少対策ほか6人）	5P
コラム “豪雪”・“平成の花咲か爺さん”・“ヤマトグサ”	4P・7P・10P
高吾北広域町村事務組合報告（第1回定例会）	9P
Q&A（2月臨時会・3月定例会）	12P・13P
平成28年度一般会計予算の概要	17P
日記帳（議長出席・参加行事など）	18P

高知県仁淀川町議会

TEL 0889(35)0111 / FAX (35)0571 / 発行人：議長 西森常晴 / 編集：議会だより特別委員会 / 印刷：(株)高知新聞総合印刷

議長に西森常晴氏 副議長に片岡政徳氏



就任挨拶

議長 西森 常晴

“所得のないところに
定住はない”

2月8日の臨時組織議会で、藤原陽三、橋本眞一、若藤敏久、片岡政徳、岡田良成歴代議長から引き継ぎ、6代目の議長を務めることとなりました。

今、仁淀川町は合併10周年を経、池川庁舎の改修工事が終わり、本庁舎は来年10月竣工を目指し工事は進み、仁淀庁舎も早晩、槌の音が聞こえてくると思われます。

建設ラッシュの明るいニュースが聞こえる一方、昨年10月の国勢調査によると、転出者が転入者を上回る「社会減」が

5.3%減の室戸市に次いで、5.2%減(335人)と本町がワースト2という深刻な結果が浮き彫りにされました。

厳しい人口減少が続く

中、県内では、陸上自衛隊が駐屯した香南市をはじめ、安芸郡芸西村、北川村、高岡郡梶原町、幡多郡三原村の5市町村は社会増を実現させています。

先日、ある会合で芸西村の関係者と意見交換をする場が持て、社会増の努力過程を聞かせてもらいました。

ルーツは、50年間村長を務められた、故岡村雅夫氏が「所得のないところに定住はない」との強い信念のもと、雇用の場づくりに精進してきたこと。

2008年度から中学卒業時までの医療費の無料化、預かり保育の延長など子育て支援の拡充、そのほかうんぬんと語ってくれました。



副議長 片岡 政徳

行政だけに頼るのではなく、今こそ、町が一丸となって挑まなければならない課題が見えてきました。

就任して、3カ月が過ぎようとしている今、その責任の重さをあらためて痛感し、寒波襲来時同様の身震いを起こしながら議長長の職責を全うすべく決意を新たにしているところです。

議会組織の変更

総務教育民生常任委員会

委員長

竹本 文直

副委員長

藤崎 源彦

議長 西森 常晴

委員

西森 久雄

副議長 片岡 政徳

委員

若藤 敏久

議会運営委員会

委員

片岡 政徳

委員長 若藤 敏久

委員

西森 常晴

副委員長 片岡 智準

委員

藤村良太郎

委員 藤村良太郎

副委員長

野村 安夫

委員 藤崎 源彦

委員

岡田 良成

委員 竹本 文直

委員

片岡 智準

委員 西森 久雄

委員

片岡 政徳

委員 西森 常晴

委員

西森 常晴

議長（ロメモ）！

歳を重ねただけで人は老いない

3月1日『健康福祉大会』が開かれ、議長に就任して初めて祝辞を述べる機会を得、1922年米国のサミュエル・ウルマンが78歳の時の作といわれている詩の一部を紹介させていただきます。

青春とは 真の 青春とは
若き 肉体のなかに あるのではなく
若き 精神のなかにこそある
歳を重ねただけで 人は老いない
夢を失ったとき はじめて老いる

全文を読んでみたいと思いませんか？

議長 西森常晴



平成28年3月定例会 町長行政報告

『ひとりひとりが輝き 誇りが持てる あたたかいまち』

昨年、合併10周年の節目を迎え、10年の歩みを刻むとともに町民の一体感を醸成するため、さまざまな記念行事を行い、次の10年を築いていく決意を新たにしました。

また、住民代表や各種団体の皆さんも参画、「仁淀川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や新しい「まちづくり計画」をまとめ『ひとりひとりが輝き 誇りが持てる あたたかいまち』を

とりが輝き 誇りが持てる あたたかいまち』を
目指すべき方向と定め、
次の10年へ歩みを進め
る。

財政計画は収入の主要
財源である普通交付税が
平成28年度から段階的に
減額され始め、5年後に
は合併による財源措置が
完全に終了する。さらに
5年ごとの国勢調査人口
の減少が普通交付税に反
映されるため、影響を考
慮して、計画を見直した。

仁淀川町の人口は国勢
調査の速報値では5千543
人、前回2010年の6
千500人から97人、率にして
14.7%減少。

5年間の減少者数97人
の内訳は、年平均20人余
りの出生者数から年平均
150人程度の死亡者数を差
し引いた自然減618人、年
平均160人程度の転入者数
から年平均220人程度の転
出者数を差し引いた社会
減335人と推計される。

日本の人口は、大正9
年の調査開始以来、初め
ての減少。高知県は3万
6千人4.7%の減、郡部で
は1万3千500人9.2%の
減、仁淀川町の減少率は

14.7%、県内34市町村の中
で3番目の減少率で、高
齢化率の高さに伴う自然
減の影響と考えている。

一方、社会減も大き
く、日本全国で、15歳未
満の年少人口、15歳から
64歳の生産年齢人口とも
減少し、社会減の解消は
容易なものではない。

仁淀川町では65歳以上
の老年人口も減少してい
るものの、首都圏では年
少人口や生産年齢人口も
減少、老年人口が急激に
増加し、若年層確保の必
要性が高まり、地方から
都市部へ若年層の移動が
さらに増すものと懸念し
ている。

このような状況の中、
仁淀川町は①不可避の人
口減少を一定容認しなが
らも「人口の長期的な安
定性の確保」②仁淀川町
の強みを生かした「仁淀
川町らしい「しごと」の
創出」③イターン、U
ターンによる「移住の促
進」、④若い世代の「結
婚・出産・子育て環境づ
くり」、⑤住む価値のあ
る魅力ある地域とするた
めの「地域インフラの整
備及び地域福祉の充実」

の五つの視点から、持続
可能なまちづくりを实行
していく。

平成28年度一般会計当
初予算は、前年度当初予
算から8億円余り圧縮し
た74億2千600万円で、前
年比9.8%減。まちづくり
の視点にかかる予算は
「子育て応援手当」など
従前から実施しているさ
まざまな事業に加え、

「移住交流拠点施設の
シェアハウス整備事
業」、母子保健コデー
ネーターを配置しての
「子育て世代包括支援事
業」及び「産前産後訪問
指導事業」、地域特性を
生かした「石垣ハウス整
備事業費補助」などの取
り組みを計画している。

また、「町にとって必
要な人材の確保が最優先
課題」との観点から、町
の介護サービスに資する
訪問介護員の処遇改善を
図るための予算も新たに
確保した。

また、林産事業の拡大
に向け必要な人材を確保
するよう、27年度補正予
算に、林業家成事業費
を地方創生交付金事業と
して計上、全国公募によ

り、仁淀川町に移り住
み、林業事業に従事する
方の確保を目指す。

【庁舎建設】

本庁舎新築工事は、昨
年12月18日「大旺新洋・
仁淀工業特定建設工事共
同企業体」が落札、今年
1月27日に起工式を行
い、現在地盤改良工事を
実施している。

工事は、発注者設計管
理業者、請負業者などの
関係者が一堂に会する場
を設け、安全確認や工程
管理、工事の詳細、苦情
など協議する。

昨年8月から実施の池
川総合支所改修工事は、
2月に、予定の工期より
早く完了した。

また、仁淀総合支所新
築事業は、建設予定地の
建造物解体工事も終了
し、現在、地域長などで
構成する建設検討委員会
の意見を聴き基本設計を
進めており、新年度早い
時期に実施設計を完了し
て、工事に着手したい。

【セキュリティ強化対 策】

マイナンバー制度の開

始に伴い、平成27年度補
正予算に地方公共団体情
報セキュリティ強化対
策事業費を計上してい
る。

【災害時医療救護所設置 運営の訓練】

昨年12月に実施した医
療救護所の設置・運営訓
練について報告。

医療救護所は、災害時
に傷病者に対する急性期
の医療救護活動拠点とし
て、安部病院、西村医院、
大崎診療所の3カ所に開
設する計画。

初めて大崎診療所・保
健センター前で設置・運
営訓練を行い、町災害対
策本部の設置や、町内医
療関係者、高吾北消防な
どが参加した。

テントの設置、負傷者
の選別、重傷者の町外救
護病院への搬送訓練も行
われた。今後は、町全体
での防災訓練と同時に実
施を考えている。



竹本雅浩教育長
(平成28年1月1日就任)

平成28年3月定例会 教育長行政報告 教育委員会制度が 本格的にスタート！

1月の積雪は、数十年ぶりといわれる寒波に見舞われ、積雪でスクールバスが運休となったことから、児童生徒の安全を優先し19・20・25日の3日間、町内全小中学校を休校した。

1月1日の教育長交代に伴い、本町でも新しい教育委員会制度が本格的にスタートした。新制度での教育長は、議会の承認を得て町長が任命し、これまでの教育委員長と教育長両者の業務を行

い、任期も4年から3年となる。

このことにより民意を代表する町長との連携の強化や、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築が行われるとされており、その成果が十分発揮されるよう気を引き締めて業務にあたっていく。

新制度で義務付けられている仁淀川町の教育大綱では、首長と教育委員会が協議・調整を行い、首長が策定する教育の目標や施策の根本的な方針を定めるもので、この大綱や県の教育振興基本計画を踏まえて新年度の取り組みを、より充実させるよう努めなければと考えている。

年度末となり各学校では1年最後の締めくくりと卒業シーズンを迎えた。小学校は3校とも3月23日、中学校は2校とも3月13日にそれぞれ卒業式を行う予定で、卒業生は小学校が22人、中学校が38人の予定である。4月の入学生については小学校が29人で児童総数は153人、中学校へは22

人が入学し生徒総数は94人となる見込み。

各小学校単位で放課後こども教室の利用者募集を行った結果、利用希望者数がすべての地区で5人以上となり、新たに森地区でも実施するよう準備を進めている。

新年度教育委員会の予算概要は、教育版アクションプラン推進のための、高知県地域教育振興支援事業や高知県放課後等学習支援事業、学校支援地域本部事業などを計上している。

奨学資金貸付金については基金残高に不足を生じる見込みであり、基金の総額が増加となった。



池川中学校卒業式

コラム (1) “豪雪……何の兆し?”

1月19日(火)豪雪を見ながら寺村地域で昭和35年から日記をつけておられた方が淡々と話す。

日記をつけ始め、昭和38年の豪雪以来の積雪量と違うかなあ……まして去年暮れから今年にかけての初雪が……と意味深に話す。

確かに私の記憶でも5cmから10cmほどの積雪の記憶はありますが、これだけ大量の雪が一日中降り続いたことはない。

町内を走って積雪量を確認すると吾川地区から池川にかけて30cmから40cm、仁淀地区や越知町は肉眼的に見ても大分少なく、道路の雪もわずかで、ノーマルタイヤでも走行可能な状態でした。

この異常積雪は何を意味する兆し



役場前の積雪状況

か、ここ数年同じ地域で同じ自然現象が起きている。

台風は高知上陸が少なくなる一方、過去台風の上陸が少なかった徳島県に台風が相次いで上陸、また四国では唯一、一昨年から豪雪が続いた。この傾向は全国的にも豪雪と水害などが同じ地域で発生している。

このたびの豪雪は数十年に1回の出来事では決していない。幸い大きな被害などは聞いてないが、我々町民に対して、自然の脅威を知らしめた警鐘と受け止めさせ、地震に限らず暴風雪とすべてに対する備えを意味するものではないか。

行政はもちろん、町民一人ひとりの防災意識の高揚に期待したい。

片岡智準議員



池川の積雪状況

一般質問 (3月定例会)

不登校に関して



答

学校ごとに
スクールカウンセラー配置

- 不登校の実態は…
- 暴風雨・雪対策は…
- 過疎・減少対策は…

ほか6人が質問！

問

野村安夫議員

不登校の実態と、改善策を問う。

答

竹本教育長

小中児童・生徒合わせて256人中、7人の子どもが、不登校の状況にある。

それぞれのケースごとに解消に向けて取り組んでいる。学校ごとにスクールカウンセラーを配置したり、子育て支援センターを開所し、子育てを支援する取り組みも行っている。

問

野村議員

12月の時点より2件減少しているので良い傾向にある。

戦後70年を過ぎ教育も変革の時期を迎えている。教育者と子ども、また、保護者とも心と気持ちのつながりが薄くなっていると考える。

現在は、教職員が強制して、子どもを学校に行かせるようなことはしないが、教育長、町長の考えを聞く。

答

教育長

子どもが学校に行きやすい環境、状況の整備、その子に合った解決策を見つけていかなければならない。

答

町長

家庭や、地域の絆が、核家族化の中で希薄化しており、専門家の意見も聞き、粘り強く対応していく。

問

野村議員

町内の児童・生徒数が少ない中、一人でも不登校の子どもをつくらぬような配慮が必要では。

答

教育長

努力する。

花桃街道について

問

野村議員

大崎から上久喜地区に至る道路改良工事の予定はあるのか。

答

町長

地域の要望などを踏まえた上で、待避所の整備

や側溝の改修を行い、安全対策を進め、交通混雑の解消も図る。

問

野村議員

相能地区の沈下橋から久喜の三差路まで改良工事はできないか。

答

大野産業建設課長

大変道幅が狭く、改良を検討したが、地権者の問題もあり在任中はできなかった。後任に検討の引き継ぎをする。



沈下橋から久喜に至る

町営バス（コミュニティバス）について

問

野村議員

バスが空席の目立つ状態で運行していると指摘があった。予算が減少し



コミュニティバス

ている今、無駄なことは削減するべきではないか。

答

町長

スクールバスを兼ねた路線が多く、主に小中学生の状況を踏まえた区間の見直しを行う。利用状況も踏まえ、経費の削減に努める。

問

野村議員

できる限りバスを小型化し、予算の節減を。

答

町長

利用状況により、今後小型化も含め考える。

林道に関して

問

野村議員

林道は機能しているか。まだまだ延長するべきだと考えるが。

答

町長

原木生産量の増大が見込まれるので、その基盤となる林道などの路網整備が必要。

開設の要望として仁淀地区と池川地区で合わせて2カ所ある。

問

野村議員

28年度に予算計上されている路線は、29年度以降も継続延長ができるのか。

答

町長

28年度で終わるが要望をして事業を続ける。

問

野村議員

4月から操業を開始する工場もあり、木材の需要がますます増大する見込みがあると思う。

森林という宝石を生かすも殺すも、町長の政策次第だと考えるが。

答

町長

町の面積の90%くらいが森林であり、有意義に活用し、林道、作業道をうまく組み合わせ、対応していく。

暴風雨・雪害 対策について

警報に合わせ
配備体制を



問

片岡智準議員

南海地震対策については、事前に災害危険場所のチェックを始め、個人対策、避難場所確保など各種施策が積極的に進められている。
災害は地震だけではなく、暴風雨・雪害もある。今年2回大雪が降った。雪の影響による孤立集落数、物資の配布状況、救急事案の有無、業者委託、重機の調達状況を聞く。

答

町長

南海地震対策については、県や町独自の取り組みを行い、備えを行っている。暴風雨・雪害は警報に合わせ、配備体制をとり、県の危機管理・防災課と情報共有を行っている。

1月の積雪で、コミュニティバスが運休、小中学校も休校となった。孤立集落情報はなかったが、独居高齢者の生活支障、発熱の連絡など数件、家族やヘルパー、また職員が外向き対応している。非常時には、仁淀川町建設業協会の協力で除雪作業を行う。

問

片岡(智)議員

町道寺村峯岩戸線は急勾配でガードレールにも間隙があり、縁石も低く極めて危険。町道先には多くの方が生活し利用度の高い道路。ほかにも類似地域が存在すると思う。そこで、人が押せるような除雪機購入を何台か検討されたい。

答

町長

最近、局地的な災害



外観的にも危険箇所（町道寺村峯岩戸線）

問

片岡(智)議員

全域を網羅する重機は望まない。本庁に2・3台でも検討されたい。

また、道路際の植林、竹を伐採し見通しを良くした反面、危険な状態が演出され苦情も聞く。寺村、そのほか類似地区へ早期のガードレール設置を検討されたい。

答

町長

手押し除雪機は事故も多いようで、そこらあたりを含め勉強する。また、ガードレールは設置要望を聞き、現地確認の上、対応する。

各課長の今年度目標は

問

片岡(智)議員

過疎少子化対策の一環として取り組まれる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や合併10周年を迎え、旧3町村の壁を乗り越え、町行政を進める上で、各課長が何を優先課題に位置付け、予算に反映したか手短かに聞く。

答

町長

予算は総合戦略の基本理念に沿った、産業振興による雇用創出、移住交流の促進、若い世代への対応、安全・安心のまちづくりを目標に予算編成を行なった。今後は合併支援

答

片岡総務課長

29年末の完成を目指すし、本庁舎建設を最重要点に取り組む。

また、町有財産管理、財政運営など、今後削減される合併支援措置や人口減による財政状況を見込んだ取り組みを行う。

28年度は電気料金一括支払いによる事務の効率化と防災行政無線個別受信機設置の呼びかけを計画している。

答

吉田仁淀総合支所長
兼住民課長

仁淀総合支所新庁舎の建築は28年度中ごろに工事を発注、早期完成を目指す。

また、今年10月予定の全国消防操法大会(小型ポンプの部)に森分団が高知県代表で出場、予算を計上し応援する。

答

門田池川総合支所長
兼住民課長

池川総合支所・コミュニティセンター改修工事が

2月に完了。また池川地区内のヘリコプター離着陸場も27年度で整備を終了予定。

予算で目新しいものはないが公営住宅2カ所が老朽化、調査検討を始める。

答

若藤企画課副参事

人口減少の抑止を最大の課題と捉え、社会減をいかに食い止めるか、移住施策は今年以上の成果を目標に取り組む。

具体的には、社会減に影響する就労先の確保・維持。移住相談会でのPR強化、情報発信による移住者の確保に努める。

答

大野産業建設課長

予算に大幅な変更はないが、産業建設課は地域に直接関連する事業ばかりで地域のための予算を計上している。執行は、国・県の補助事業を活用するよう取り組む。

答

大野仁淀地域振興課長

区長からの要望に対しては、即時対応に心掛ける。継続事業ばかりで新たなものはない。

答

谷池川地域振興課長

独居高齢者宅などの近くに車道がなく、生活道2路線の予算を計上。また、2路線の林道の延伸、林道開設による森林施業の進捗向上を図る。そのほか、魅力ある自然文化を観光に結びつけるため、手作り観光看板やパンフレットの作成に努める。

答

坪内町民課長

臨時給付金については、補正対応で行う。窓口業務は信頼の第一歩、手続きは迅速かつ正確に心掛ける。

答

大野保健福祉課長

少子高齢社会進行に伴い、社会保障や健康増進、母子対策が重要。町民が安心して暮らし、幸せを実感できる、保健・医療・福祉・介護の連携を図り、実現に向けて着実に業務の遂行に努める。

予算は、母子保健対策に対する総合支援体制を確立。巡回訪問調査員の配置、認知症の初期集中

支援対策や人材確保制度の導入を考えている。

答

味本仁淀健康福祉課長補佐

予算編成は職員がコスト意識を持ち、事業の緊急性・必要性の意見を交え、障がいのある方、高齢者のニーズに応える予算とした。

答

中野池川健康福祉課長

障がい者福祉、高齢者福祉の充実と子育て世代包括支援事業、産前・産後訪問指導の充実を図る。

答

津野教育次長

生きる力を育む就学前・学校教育の推進、生涯学習の推進、学力の育成、豊かな心の育成など重点的に取り組む。特に生涯学習は地域での学びの機会を支援する。

問

片岡(智)議員

この質問の目的は、役場には上部機関がなくノルマがない。町長は限られた予算で最大の効果を力説する。

皆さんの答弁の中でそ

の点を期待し、池川の谷平課長は「手作り看板」の試みを話された。

各課長は部署にこだわらず、公私を問わず町のために努力し、行革も進められたい。

答

町長

まちづくり計画を進める上で大事なこと。今後とも官民一体となって、具体的な施策に取り組んでいく。

問

片岡(智)議員

まちづくり計画は具体的な内容に踏み込まれていない。

ほかに頼らず、行政と住民が共通の意識を持つ場を増やし、今年促進される間伐事業も地権者に理解を得、一緒に汗をかき充実したものにすべきだ。

答

町長

住民との一体感は大事だと思う。今後は検討会、説明会を行い、住民の声を聞き施策を進める。

コラム (2)

“平成の花咲か爺さん 地域の絆を咲かす”

昔話の花咲か爺さんは、枯れ木に花を咲かせ、民に心を開かせ気持ち豊かなにした。

平成の爺さんは、館を建て、花桃を咲かせ、「花の里公園」を完成、地域の絆を深めた。

名も知れない1人が、こつこつ始め、努力を積み重ね、やっと開花の時期を迎えた。

平成8年ごろ、寺村在住の片岡一徳さんは「過疎少子化・薄くなる絆を予想したか」は語らないが、仕事の傍ら田畑を投じて小屋(憩いの館)を建て始め、風雪20年。

一日として休むことなく「コツ・コツ」の積み重ね、棟上げなど1人でできないところには地域が協力、また、周辺畑地の地主「片岡貞時さん」が苗

木を育てて植樹の協力「絆は絆を生み」、花桃の咲き誇るこの時期に、「努力の花」と千本近い「花桃の花」が同時に開花、光明の兆しがさしてきた。この3月26日、花見の宴が催された。(写真参照)

噂は口コミで伝わり、周辺町村からも多くの方が参加。人口100人足らずの小さな集落に、100人近い方が集い、少し花冷えの里で、絆を深めたひとときでした。この絆がさらに深まり、寺村地域ひいては、仁淀川町全体に広がることを期待したい。

片岡智準議員



花の里を眺望



宇宙桜と片岡一徳さん(左)、お花見(右)

人口は5千543人、前回から957人、率にして14.7%減少。住民基本台帳で見ると合併後1千887人の減、そのうち65歳未満の減少者は1千510人、全減少者の80%を占めている。今後は、生産年齢人口の流出をいかに抑えるかが課題。

答 町長

国勢調査の速報値が発表された、この結果をどのように見るか。

問 竹本文直議員

国勢調査・速報値について

答 大幅な人口減少



問 竹本議員

具体的な施策を効果的に実行していく。

町が示した人口の将来展望では、2025年、4千650人を想定している。

現状ではこの目標は厳しい。目標値に近づけるために、かなり思い切った施策が必要と考える、具体的な計画を示せ。

答 町長

9割を占める森林を主体に、地方創生の事業を

取り入れ、移住専門員を置き移住促進につなげる。

町の基幹産業である一次産業を中心にしながら、地域の特性を活かした取り組みをする。

問 竹本議員

移住希望者は「職」「住」「教育」を重視している。

若い人は、特に教育を重視しており、特徴のある学校教育が必要。

保育士、介護士、林業作業者など、目的を絞った移住者対策に思い切った施策を講じ、我慢できるところは我慢する必要があると考える。

答 町長

教育に関して、子育て支援を中心し、仕事は、一次産業の育成。保育士、介護士については町単独の支援策。住宅は池川、大崎に若者定住住宅を考えている。

国家賠償法について

答 基本的には町に責任がある

問 竹本議員

国家賠償法第1条は、公務員が公権力の行使にあたる際（職務を執行する際）に、故意または過失によって違法な行為を行い、他人に損害を与えた場合、国あるいは公共団体が損害賠償の責任を負うとする規定である。

議会活動、議員活動もこの法律が適用されると考えるが町長はどう考えるか。

答 町長

この法律は、国、または公共団体の公権力の行使に関する損害賠償責任を定めたもので、公務に起因して損害を被った者を救済することを目的としている。具体的にはそれぞれの事象の詳細な内容によって判断される。

問 竹本議員

発言の裁量が大きいことは国会議員、地方議員

とも共通する。

そのため、地方議員の発言については、違法性がないと判断される傾向が裁判では強い。しかし、ヤジ、私語などは責任が生じる。

今回の件で議員側に責任が生じた場合、賠償はどこの責任なのか。

答 町長

仁淀川町議会会議規則60条において、議員は町の一般事務について議長の許可を得て質問することができ、と規定されており、議会議員としての発言であると認識している。

一般的に、国民に対して重大な名誉棄損や損害を与えた場合に一定、町としての賠償責任はあると考えている。

問 竹本議員

判例、学説では、広義説を取っている。

町は、いろいろな事業を外部委託し、直接町が行っていない事業でも、このことは十分認識しなければいけないと考えるが。

答 町長

いろいろな事業を委託しており、これについては、当然町が責任を持って対応していく。

「障がい」を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障がい者差別解消法）について

問 竹本議員

今年4月からこの法律が施行される。

法律に基づき、障がい者対策をどのように進めるのか、町長、教育長、担当課長に聞く。

答 町長

この法律の概要は、国、地方公共団体及び民間事業者による、障がいを理由とする差別を禁止すること。

障がいを理由とする差別とは、正当な理由なく、サービスの提供を拒否、制限、条件を付けたること。

行政機関などは、分野ごとに障がいを理由とす

る差別の具体的内容などを示す対応要領、対応指針を作成すること。

高知県では27年度内に対応要領を策定予定で、町でも県の指導を受け策定を検討中。

答 教育長

教育現場では、障がいのある子どもに対し、個々の状況を考慮して十分な時間の確保や、場面に応じ合理的配慮を行う体制づくりを進める。

また人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を児童、生徒自らが培い、それらを家庭での日常生活、学校での学習や生活及び地域での遊び、活動、行事などの具体的な機会に生かす教育につなげていく。

答 保健福祉課長

町の対応要領は、27年度内に作成される県の対応要領を基に検討していく。障がい者に限らずすべての方について相談などがあれば適切に対応する。

問 竹本議員

※
社会にはいろいろなバリアがある、一番の問題は心のバリアだと思ふ、施策を行う者に、法律の趣旨をよく理解してもらわないといけない。

公共団体は努力義務になつてはいるが町で条例を作つてはどうか。

答 町長

検討していく。

問 竹本議員

この法律の趣旨を理解し、一人一人が心のバリアを取り除く。

特に、地域福祉を担う行政職員は、率先して法律の趣旨を理解し、自ら積極的に広報活動を行い、日々の職務にあたるべきだ。

また、町も広報活動を積極的に行い、周知徹底を。

不登校の問題も指摘されている、不登校児の中に、この問題で不登校になつた子がいないか調査はしたのか。

答 町長

広報など、いろいろな機会を通じて周知徹底を図る。

答 教育長

調査はしていないが、そのような報告は受けていない。不登校になる理由はいくつあり、その中には含まれているかもしれないので、学校長などに確認をする。

障がい児に対する対応は、細心の注意を払い、より良い学校環境にしていく。

※バリア

障害物。段差など物理的なもので以外でも、制度や心理的な障害が存在する。

高吾北広域町村事務組合報告

3月2日(水) 第1回定例会(本町関係抜粋)

一般廃棄物処理施設について

問 片岡智準議員

一昨年、越知町楠神に所在する、一般廃棄物処理施設(廃棄物処理センター)を視察見学した。その際、現地の説明では、処理施設の容量が平成29年には満杯になると説明を受けた。

今後の対応について、可能な範囲で進捗状況などを聞く。

答 事務局長

議員指摘のとおり、容量がいっぱいになり対応に迫られている。

そのため、来年以降は県外の民間処理施設への委託の方向で検討している。

最近、焼却灰埋立量は減少し、現状では新たな処理施設を建設するより、委託する方が維持管理、運搬などすべてのコストについて相当の割安となり、一応の方向性はある。

決まっている。

今年度予算に焼却灰一時保管場所施設の設置を計上した。

問 片岡智準議員

今、他県の民間処理施設に焼却灰を運搬し処理を計画中との説明を受けた。

企業の財政状況や焼却灰置き場の場所を現地確認の上、気密性、耐久性、漏水の恐れなど確認し、契約されることを申し上げ質問を終わる。

28年度予算について

28年度予算はいずれの会計予算も減少。原因は一般会計のし尿処理施設の大規模修繕の終了や、特別養護老人ホーム会計の介護報酬引き下げによるもの。

ただ、一部老朽施設も散見され、火葬場の耐震補強設計見積もりを計上している。

予算内訳は次のとおりである。

高吾北広域町村事務組合 平成28年度予算

会計名	予算額	前年度比
一般会計	9億4,247万7,000円	△ 1億221万1,000円
特別会計	特別養護老人ホーム	12億1,573万2,000円
	養護老人ホーム	1億1,057万4,000円
	障害者支援施設	1億7,240万8,000円
	ふるさと市町村圏	1,877万9,000円
	合計	24億5,997万円
		△ 1億2,969万3,000円



今年度中で使用不可の廃棄物施設

町出身者を知る
ふるさと情報誌

答 地域創生事業で要望

問

片岡政徳議員

本町の人口は旧3町村最盛時の4分の1、多くの方が本町を離れている。

出身者に対し、広報「によど川」が情報源となるが、逆の情報は伝わっていない現状にある。

出身者の中にはさまざまな分野で活躍されている方が多くおり、吉田類さんは旧仁淀村出身で、本町の観光特使として本町のPRに一役買っている。

る。

江戸時代の隅田川を背景に時代小説を書かれている藤原緋沙子さんは旧池川町出身、ほかにも多くのの方がおられる。

県外で活躍している出身者のふるさとへの思い、日常生活の情報を収集できる方法を模索し、出身者と交流、観光事業への推進に役立てては。

答

町長

町外に広報は460部を送っており、情報発信の重要な手段である。今後は、町出身者の活躍やふるさとへの思いを語るコーナーを設け、紹介も考えている。

また季節ごとの観光案内、イベントなどパンフレットの紹介も考えている。

情報誌作成は、地方創生事業で要望しており、食文化、商店、宿泊施設、観光情報をまとめる情報誌の作成に取り組み、発信を考えている。

問

片岡(政)議員

団塊の世代も退職、第二の人生を歩んでいる。

現役と違った立場でふるさとへの思いはある。吉田類さんに次ぐ第二、第三の特使を考えてはどうか。

答

町長

町内にも活躍されている方がおり、町内外で活躍されている方のコーナーを設け紹介も大事と考える。

吉田類さんに次ぐ観光特使も、お願いすれば了承していただける方もいらっしゃるので検討する。

廃校に残る教材・楽器・本などの管理について

問

片岡(政)議員

廃校となった旧校舎には多くの教材などが残っている。空いた公共施設で保管してはどうか。

案として、耐震の終わっている名野川小学校で、保管方法を考え、後世に残る管理をしてはどうか。

昨年9月議会で質問した、旧吾川中の優勝トロフィー、表彰状、写真の

保管場所と池川中の歴代の卒業写真の件も聞く。

答

教育長

各廃校の物品を集めると相当な量となる。取り扱いには維持費など含め十分議論し判断する。

旧名野川小学校は、地域防災計画で避難所に指定しており、長期の活用は難しい。地域住民の意見も聞き利用を考える。

旧吾川中のトロフィー、表彰状、写真は保管場所が確保できず先になるが、適切な管理を考える。

池川中の卒業写真は、吾川中と合わせると相当の量となり、掲示方法、写真選別などを検討する。

問

片岡(政)議員

吾川中のトロフィーなど、今の保管は、当時の生徒に失礼な保管と言える。保管場所を考えては。

答

教育長

保管場所を早く決め、いい状態で残すよう考える。



(3) 和名 ヤマトグサ

日本で日本人が学名をつけた第1号

仁淀川町には、あまり知られていないことがたくさんある。

そのうちの一つに、かの牧野富太郎博士すら知らなかった「ヤマトグサ」がある。

明治22年、複数名のものが上名野川の山中で発見、日本で日本人が学名を付け、植物第1号に登録、当時の新聞などで報道され、旧名野川村が一躍有名になった。「ヤマトグサ」の和名を聞くと、単に草の印象を受けるが、れっきとした可愛い花。

全体の丈は、大きくなっても10cm足らずの、小さなもので、花、茎、葉はいずれも緑色、雄しべ部分がリアン風に垂れ、「舞妓さんのかんざし風」、開花は5月ごろ。(写真参照)

生息地は中・四国・九州、明治22年ヤマトグサが、上名野川の山中で発見されて以来、多くの植物学者はもちろん、牧野富太郎博士も再三、同山中に足を運び、新種を数点発見、博士の名が付く植物も数多くある。

向口在住の北平地則夫さんは、仁淀川町を知れば植物に限らず、面白いことがほかにもたくさんある、と話される。

皆さんも「何か」チャレンジし、観光資源にしてみませんか。

片岡智準議員



和名 ヤマトグサ



特別職などの報酬について

答 現状維持

問

若藤敏久議員

先日、特別職等の報酬、給料審議会が開かれたと聞くが、委員の選任方法と審議会への提出資料、審議会での意見と答申内容を聞く。

答

町長

審議会条例に基づき、町内の公共的団体などの代表者や知識経験を有する者の中から6人に委嘱。資料は町村長、議員の全国人口段階別給料月額、高知県同規模町村給

料月額、事務局長試算表などを提出した。

審議会では、人口が減少する中で、給与などを増額することへの懸念、町長など特別職が同規模町村並みであれば議員も同様とするなどの審議がされ、特別職、議員とも給料、報酬は現行額とする答申だった。

合併前から据え置き

答 本町の議員報酬は低い

問

若藤議員

現在、議員報酬は16万5千円、税金と交際費を除けば手取りは約10万円、合併前から15年間据え置きとなっている。これでは子どもを育てることもできず、町を背負って立つ有望な若手議員の誕生は望めない。現報酬を下げてでも、次期選挙後からは見直していたきたい。

審議会答申のように人口減少が理由なら、本町は永久に現状維持で、若手議員の台頭は望むべくもない。

答

町長

合併後議員の責任、仕事量は増大しており、他町村のように報酬の見直しが必要と思う。

本町の議員報酬は非常に低く、若者に議会への関心を持ってほしく、数年ぶりに審議会を開いたが結果は現状維持だった。

今後も状況を見て審議会を開催したい。

若者と町の将来のために

答 環境づくりをする

問

若藤議員

議会は2年前、自ら襟を正そうと、議員定数を削減し経費を節約してきたが、そこは審議されたのか。

議員選挙に当選するには350票が必要で、ハードルも高くなっている。

我々が報酬について提言することは禁句とされているが、町の将来と若者のためにあえて申し上げておきたい。

答

町長

若者が意欲を持って出馬できる環境づくりも必要と思う。

私は審議会に同席できないが、議会の努力も説明し、参考にさせていた

答

片岡総務課長

委員の意見が分かれ、会長が意見をまとめた。

本庁舎起工式について

答 業者主催

問

若藤議員

本庁舎建設には議会も住民も意見が分かれ、関係者全員が随分苦労したように思う。

先日、参加者約40人で起工式を行ったと聞くが、寂しい限りだ。

せめて課長と議員、庁舎建設検討委員は出席させても良かったのではない

答

町長

各機関の代表者には参加いただいたが、庁舎建

設検討委員会には代表者がいないため、参加要請を断念した。

業者主催の起工式で安全祈願を兼ねており、業者側とのバランスを考慮した。

指導力を発揮してほしい

答 立派な落成式を

問

若藤議員

業者主催の起工式でバランスを考慮したのかもしれないが、連絡がなければ誰にも理解できない。

私も新聞で初めて起工式の件を知った。

“なぜ案内がないのか”の批判は業者でなく町に集中する。

もう少し指導力を発揮してほしい。

答

町長

庁舎建設には議会や検討委員会には、当初よりご支援をいただき感謝している。会場の都合もあり小人数となった。

庁舎完成の暁には皆さんを呼び、立派な落成式を行いたい。



本庁舎起工式

金子直吉生誕150年
記念事業について

【答】 創意工夫して

問

藤崎源彦議員

今年は、本町出身の金子直吉生誕150年の年。昨年6月定例会で町長は、記念行事を何らかのかたちで開催したいと発言。具体的な計画は。

【答】 町長

金子直吉が本町で誕生したことを誇りとし、これまで検証事業の検討や、しもなの郷での集い、勉強会及び資料室の設置を行った。

また、合併10周年に合

わせた「ふれあい高知新聞 仁淀川町」で高知新聞が発行したパンフレットなどを活用した情報発信にも努めている。

記念行事は、しもなの郷などと協議し、講演会やシンポジウムを開催する計画で準備している。

【答】 教育長

行事の予算として、講師謝金などを報償費で計上した。

【問】 藤崎議員

記念行事を、1日だけで終わらせるのではなく、観光事業の一環としてとらえ、本町の宣伝や生誕地訪問ツアーなどに発展させては。

【答】 町長

一つの観光資源として

期待しており、知事にも話した。県では歴史博覧会を行う予定があり、その中で取り入れる検討をしたい、とのこと。

【問】 藤崎議員

町外に住む本町出身者にこの情報を発信し、帰省ツアーを組むなど、帰省する機会をつくっては。

【答】 町長

金子直吉の名を広めるチャンスだと考えており、紹介する機会を増やすとともに、しもなの郷金子直吉資料室の資料提供を、町内はもとより、町外の本町出身者にも求めていく考え。

また、本町出身者との親交を深めるツアーも検討する。



金子直吉像

承認・可決(否決)された議案

第1回(2月)臨時会

Q & A

○専決処分の報告

■平成27年度道整備交付金事業町道泉線改良工事

契約金額

138万1千320円減額し、6千287万8千680円

契約の相手方

株式会社 西森建設

法面工及び安全費などの減に伴う減額。

■平成27年度道整備交付金事業林道用居椿山線開設工事

契約金額

340万4千160円増額により5千600万160円

契約の相手方

栄宝生建設 株式会社

切土の増、カゴ枠工の増に伴う増額。

■平成27年度町道大崎長屋線道路改良工事

契約金額

61万8千840円減額し、8千237万4千840円

契約の相手方

株式会社 上岡工務店

交通誘導員の配置数の減に伴う減額。

■仁淀川町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

町民税減免申請書などへの個人番号の記入を要しないこととなったため、一部を改正するもの。

(承認 全員)

○補正予算

■平成27年度仁淀川町一般会計補正予算(第7号)

年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費など、5千244万5千円を追加し、84億2千321万3千円とする。

問 藤村議員

臨時福祉給付金の対象者は。所得制限などはないのか。



答 坪内町民課長

対象者は、平成27年1月1日において住民登録をされている方で、平成28年度中に65歳以上となる、平成27年度臨時福祉給付金の支給者。住民税均等割が掛かっている方や、扶養になっている方は対象外。

(可決 全員)

承認・可決(否決)された議案

Q & A

— 第2回 (3月) 定例会 —

○専決処分の報告

■平成27年度大植・折合地区飲料水供給施設整備工事

契約金額

493万8千840円減額し、5千716万1千160円

契約の相手方

株式会社 西森建設

配水管敷設延長保温工及び安全費の減額。

■平成27年度仁淀川町池川総合支所改修工事

契約金額

300万3千480円増額し、1億4千946万5千520円

契約の相手方

栄宝生建設 株式会社

火災報知受信機及び1階事務所床工事の追加による増額。

○条例制定・改正

■行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(可決 全員)

■仁淀川町行政不服審査会条例の制定について

審査請求の採決の、判断の可否を審査する第三者機関として、仁淀川町行政不服審査会を設置するもの。

問 片岡(智)議員

審査会の委員はすでに決まって委嘱をされているのか、その都度、決めるのか。

委員は、にわかにはできないものではない。あらかじめ選定をし、勉強をされ、事前の準備は万全を期すように。



答 片岡総務課長

その都度、選任をするが、選任については注意を払う。

(可決 全員)

■仁淀川町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について

問 藤村議員

公務の運営に支障のない範囲とはどの程度なのか、誰が認めるのか。

答 片岡総務課長

その都度検討していくが、よほどのことがない限りは認めることになる。任命権者である町長が認める。

(可決 全員)

■仁淀川町町税等の滞納者に対する行政サービス等の制限措置に関する条例の制定について

町税の滞納があるときは、行政サービスなどの提供を制限することができよう条例を整備するもの。

問 竹本議員

滞納の期間はどれくらいか、すべての申請者を確認するのか。

理由があり、払えない場合などの取り扱い。

答 片岡総務課長

申請時に滞納がある場合、対象となる。

個人や団体は対象になるが、地区や地域は対象とならない。

一括納付は困難だが、分割で納付いただける方などは対象外となる。

問 片岡(智)議員

対象となる行政サービスにはどのようなものがあるのか。

答 片岡総務課長

町が独自に補助金などを交付する地域タクシー券や地域づくり事業などが対象。



答 下久保税務課長

町有財産の使用許可、貸付及び売買。使用許可の許認可。補助金などの交付。資金の貸付など41事業が対象。

(可決 全員)

■人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

■職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

■仁淀川町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

■仁淀川町委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

行政不服審査会委員の報酬額を追加するとともに、投票立会人の報酬額を、従事時間別に定めるもの。

(可決 全員)

■仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

■仁淀川町一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

旅行中の宿泊料について、定額で支給していたものを限度額内で実費支給とするもの。

(可決 全員)

■仁淀川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

■仁淀川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

(可決 全員)

○指定管理者の指定

■仁淀川町移住交流拠点施設の指定管理者の指定について

団体名

一般社団法人山茶小屋

指定の期間

平成28年4月1日～

平成31年3月31日

(可決 全員)

■仁淀川町安居溪谷森林総合利用施設の指定管理者の指定について

団体名

一般社団法人土佐人会

指定の期間

平成28年4月1日～

平成31年3月31日

(可決 全員)

■仁淀川町池川439交流館の指定管理者の指定について

団体名

池川439 LOVE

指定の期間

平成28年4月1日～

平成31年3月31日

(可決 全員)

○平成27年度補正予算

■平成27年度仁淀川町一般会計補正予算(第8号)について

交付額確定など2億4千174万1千円を減額し、81億8千147万2千円とする。

(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

3千290万4千円を追加し、10億6千685万9千円とする。

(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算(第2号)について

69万円を減額し、2億344万4千円とする。

(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

22万6千円を減額し、12億3千30万6千円とする。

(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

答 若藤企画課副参事
地域に関する事業と、創業支援に関する事業。



問 竹本議員
316万円を減額し、1億1千954万5千円とする。(可決 全員)

■平成27年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について

469万円を減額し、1億8千127万1千円とする。(可決 全員)

○平成28年度予算

■平成28年度仁淀川町一般会計予算について

74億2千688万6千円と定める。

問 竹本議員
地域づくり事業補助金と地方創生事業補助金の違いは。



問 竹本議員
マイナンバーカードの交付枚数は。

答 坪内町民課長
現在300枚程度。

問 竹本議員
社協補助金、民生児童委員協議会補助金の増額の理由は。
中山間地域障害福祉費、地域タクシー券はなぜ減額となっているのか。
介護サービス人材確保対策事業補助金の具体的な計画は。

答 大野保健福祉課長
社協補助金は、ボランティア事業や職員の昇給で増額に。民生児童委員は、任期の最終年度に視察研修を行うための研修費。
中山間地域障害福祉費、地域タクシー券は、昨年の実績などを考慮し減額している。

訪問介護職員の確保のため、処遇改善に取り組んでいく。

問 竹本議員

飲料水供給施設改修、家庭用供給施設整備の場所。

答 坪内町民課長

飲料水の改修はまだ要望がきていないが、家庭用給水施設については、上名野川地区、蔵谷地区から要望がきている。

問 竹本議員

学校給食費のうち、地場産品の割合は。



答 津野教育次長

金額的に、地元食材の割合は4%。地元業者から納入した金額は、地元食材分と合わせ33%。

問 片岡(智)議員

予算書の名称が昨年度から変わっている理由は。

地域づくり事業補助金と地方創生事業補助金は流用できるのか。上久喜や寺村の花桃に地域事業補助金を使えるのか。介護サービス対策事業補助金は、個人が申請してもよいものか。



答 片岡副町長

予算書の名称は、分かりやすくするための調整。事業の状況によって、同じ目の節内流用は可能であるが、地域づくり事業の計画があれば、当初予算や、補正予算で対応をしていく。介護対策事業については、事業者が訪問介護職員への処遇改善について支払うもの。

問 藤村議員

竹ノ谷若者定住用住宅地について、この計画を立てる前に、希望調査をしたのか。宅地購入をした地主の

人数、面積、購入金額は。宅地造成にかかる工事費はいくらか。また、全体計画の概要、一区画の面積は。全体の事業費から換算される坪単価と、販売価格はいくらになるのか。



答 谷平池川地域振興課長

希望調査は行っていない。今回の進上路に付随する購入面積は、3549・16㎡、購入代金は2千994万7千84円。

答 津野教育次長

当時の担当者として分かつている範囲で、地権者は3人、区画数は、今回進上路を計上している付近に5棟、一区画70坪から80坪を予定。宅地配置は、進上路に対して検討しており、敷地造成は、行政側では計画していない。売買価格は、佐川町の

販売している団地の金額を踏まえながら、若者が購入しやすい単価に設定したいと検討していたが、具体的には決定していなかった。

問 藤村議員

通常、役場が事業を行う際にはある程度調査を行って始めるべきではないのか。28年度予算は、進上路2千万円を計上しているが、今までにいくらかかっているのか。役場が宅地造成を行わないのか。

答 津野教育次長

町が宅地造成をするべきなのか、個人が土地の地形に合わせて希望する敷地に仕上げるのがよいのか検討をしていた。

問 藤村議員

土地は役場が買ったが、造成は購入者が行うというのはちょっと乱暴ではないか。家を建てる者がいるかどうか分からない土地を町が買ったというのは問題があるのでは。

答 津野教育次長

池川地区は、ほとんどの方が借地に家を建てており、めったに土地は売りに出されない。

今回地権者が、町が若者定住に利用するのであれば売却することであつたので購入をした。

問 藤村議員

買い手がいなかった場合、執行部としてどのように対応するのか。宅地造成費用は全く分かっていないのか。

答 谷平池川地域振興課長

買い手がいないということは現在のところ考えていない。造成費の算出は明確なものとは出ていない。

問 竹本議員

こんな予算計画で税金を使っているのか。自立促進計画の中の移住者対策と整合性がない。

答 町長

今、進上路を作ろうとする奥地の住宅は、造成をして販売をしていき、中学校の前の土地につい

ては、場合によっては公営の若者定住住宅を考えたい。

問 岡田議員

若者定住ということと、仁淀川町独自の思い切った政策で取り組むように。

答 町長

県内の市町村など参考にしながら計画をしたい。

問 若藤議員

土地購入時に説明を受け、議会でも応援をしようとして賛成をしたが、購入時の計画ができていないようだ。

若者定住の一番の問題は仕事がないこと。それは考えていたのか。

購入金額に造成費用をかけていくらになるのか。

造成を、一人の方は土地を掘り下げて真つすぐ斜地のままでいきたいという造成ができるのか。

や

やはり、造成は町が行うべき。

答 谷平池川地域振興課長
造成については、「購入者の希望に沿うように、個人で造成工事をしていただく」ということで土地を購入したと聞いている。

問 岡田議員
若者定住にするのか、一般に販売をするのか。

答 副町長
若者定住として土地を購入しており、まずは地元の若者に販売を試みる。若者定住用地とする場合、優遇される条例もあるので、柔軟に計画をしていく。

問 藤村議員
販売に向け頑張ってPRをし、若者定住住宅の建設に伴う写真を早急に議員に示すように。

答 谷平池川地域振興課長
広報や地区回覧に載せて販売努力をする。

答 町長
できるだけ早く対応をする。

問 片岡(政)議員
池川・仁淀両支所の宿日直がなくなることに對し、住民から多くの不安の声が聞こえる。どのような体制で行うのか。
町有林間伐委託料の加工は、町内業者が行うのか。

答 片岡総務課長
広報誌や回覧で周知をし、支所にかかってきた電話については本庁に転送される。
非常時には、支所にも臨時に宿日直を置く。
本庁舎の木造部分の製材にかかる部分で、町内業者が行う。

問 片岡(政)議員
町産材の家推進事業補助金が昨年度より2千万円減額の理由は。

答 若藤企画課副参事
年々、申請数が減ってきているため。

問 片岡(政)議員
地域タクシー券は、利用しない方も多くいる。利用される方のために12枚を24枚にできないか。

答 大野保健福祉課長
通院や買い物、外出支援に欠かせないもので、引き続き検討をする。

問 岡田議員
町有林間伐委託料、林業育成事業費補助金、間伐等流通促進事業補助金の詳細を。

答 片岡総務課長
町有林間伐委託料は、製材、乾燥、運搬費用など。



答 大野産業建設課長
林業家有成事業は、5人の林業者の移住、研修の受け入れ関係予算。現在、町外から4人を受け入れ予定。
間伐促進事業は、林産組合の選木機に間伐材を持つて行くと、立方500円の補助を行う。

問 若藤議員
加工材や間伐材など、補助金を出す際のチェック

クはどのように行っているか。

答 大野産業建設課長
すべて現地での確認を行っている。

問 竹本議員
間伐事業のチェックは写真で行っていると聞いたが。

答 大野産業建設課長
職員が現場へ行き確認をして写真を撮っている。

問 藤崎議員
建設業協会から、工事の経費の率と、指名業者の選定について要望を出したと聞いたが、どのような回答をしたのか、それは予算に反映されているのか。
建設業者は雇用の受け皿でもあり、弱体化すると、大雪など緊急時に対応できなくて困るのでは。

答 大野産業建設課長
道路の開設、改良などは経費の率を、5%引き上げる予定。

答 町長
災害協定を締結し協力をいただく。

■平成28年度仁淀川町国民健康保険特別会計予算について

9億7千794万3千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定予算について

1億9千641万5千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町介護保険特別会計予算について

12億2千27万4千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計予算について

1億2千481万2千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町簡易水道事業特別会計予算について

9千511万8千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計予算について

4千426万6千円と定める。

(可決 全員)

■平成28年度仁淀川町観光センター等管理運営事業特別会計予算について

3千358万円と定める。

問 若藤議員
予算は、例年並みか。今後、指定管理は難しいのか。



答 大野仁淀地域振興課長

雑排水タンク新設工事費もあり、昨年度より437万円増額している。

指定管理も含め、将来の経営計画を検討している。

(可決 全員)

○工事請負契約

■平成27年度林道災害復旧事業林道上名・用居線(梅雨前線豪雨災害(30.7.1・1号箇所)(27年発生)災害復旧工事請負契約の締結について

契約の方法

指名競争入札

契約金額

7千948万5千840円

契約の相手方

株式会社 大一林組

問 野村議員

場所はどのあたりか、工期は1年で終わるのか。

答 谷平池川地域振興課長

小郷線の合流点から300mほど吾川寄りの地点。

標準工期は247日。

問 藤村議員

工事の内容は。

2業者が辞退をしているが、辞退した理由は。辞退をした業者へのペナルティーはないのか。

答 谷平池川地域振興課長

施工延長50m、切り崩し工、吹付け法砕工、落石防護網など。

答 片岡総務課長

辞退の理由は不明。ペナルティーはない。来年度からは、町内業者など制限を付け、一般競争入札も検討している。

(可決 全員)

○その他

■高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更について

(可決 全員)

■高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更に伴う財産処分について

(可決 全員)

■仁淀川町過疎地域自立促進計画の策定について

(可決 全員)

■仁淀川町まちづくり計画の変更について

問 竹本議員

計画を実行するため、関係部署が連携をして進めるように。

答 町長

職員一丸となり、横の連絡も取りながら対応していく。

(可決 全員)

平成28年度一般会計当初予算の主な事業

総務費	本庁舎新築工事費 10億7,600万円(平成28年の出来高相当額) 本庁舎木製備品製作 1,480万円(全体事業費3,880万円) 仁淀総合支所実施設計委託 1,620万円 移住交流拠点施設改修工事 1,000万円(シェアハウス用に改修4部屋) 地方創生推進交付金事業 476万5,000円 固定資産土地評価委託 1,400万円(課税の公平性確保 全体事業費2,800万円)
民生費	介護サービス人材確保対策事業 360万円(介護従事者の処遇改善) 地域タクシー券事業 500万円(75歳以上の高齢者にタクシー券を配布)
衛生費	子育て世代包括支援事業 248万6,000円(コーディネーターを配置し、総合的相談支援を実施) 産前産後訪問指導委託 90万円(妊産婦などに対しきめ細かい支援)
農林水産業費	石垣ハウス建築事業費補助 200万円(5棟分) 園芸用ハウス災害復旧事業 1,872万円(積雪により被災したハウスの復旧支援) 道整備交付金事業工事費 2億763万円(林道開設3路線 改良4路線) 手造りの森権利譲受事業 4,500万円(30万円×150口)
商工費	観光協会補助金 1,000万円(平成27年設立)
土木費	道整備交付金事業工事費 1億8,230万円(町道改良3路線) 国直轄事業負担金 6,800万円(大渡ダム大橋塗装) 町道整備(単独) 8,200万円(改良・舗装など19路線) 川口定住住宅造成工事 2,200万円(建築は平成29年の予定)
消防費	全国消防操法大会出場経費 1,380万8,000円(長野県10月14日) 寺村防火水槽設置工事 998万円(60トン) 防災無線個別受信機設置工事 793万8,000円(100台) 応急期機能配置計画策定委託 685万円(救助機関の活動拠点などの機能を配置する計画)
教育費	子育て応援手当 1,529万円(小・中学入学時支給 高校通学など助成) 金子直吉生誕150年記念事業 30万円(講演会など)

総額 74億2,688万6,000円



絶景ポイント 寺村「花の里公園」

花桃・桜の饗宴する花の里（仁淀川町寺村）※関連記事7ページに掲載

日 記 帳

29日	26日	27日	2017年2月2日	28年1月1日	28年12月9日	28年12月12日
市議会（いの町） 吾川郡町村議会議長	高知県町村議会議長 会定期総会 高知県町村長・町村 議会議長大会（高知 市）	仁淀川町本庁舎新築 工事安全祈願祭神事 会	大渡ダム大橋修繕代 行着工式 議会だより特別委員 会	仁淀川町成人式 消防出初式 仁淀川町大橋修繕代 行着工式 議会だより特別委員 会	定例議会 全員協議会 吾川郡町村議会議長 会（いの町） 議会だより特別委員 会	定例議会 全員協議会 吾川郡町村議会議長 会（いの町） 議会だより特別委員 会

3月
1日

5日

高知県立佐川高等学
校卒業証書授与式
【副議長出席】
第11回仁淀川町健康
福祉大会
議会運営委員会
新佐川町制施行60周
年記念式典並びに祝
賀会（佐川町）
一般国道33号高知西
バイパス開通式（い
の町）
【副議長出席】



このたびの「平成28年熊本地震」において、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

被災地におきましては、一日も早い復旧と、皆さまのご無事をお祈り申し上げます。

編 集 後 記

名野川で150年前に生まれた実業家・金子直吉を紹介します。

6歳まで名野川で過ごし、その後、家族と高知市に移り住んでいます。

貧しくて学校に行けず、14歳から質屋で働き、質草の本を読んで成功の基礎となる知識を身に付け、20歳で高知を離れ、神戸の砂糖商「鈴木商店」へ丁稚奉公、その後、大番頭まで出世、商才を発揮し、商店の最盛期には、三井、三菱をしのぐ日本一の総合商社にまで発展させています。

金子が残した事業に、帝国麦酒（現サッポロビール）があり、当時の銘柄「サクラビール」は、自ら販売の先頭に立ち、彼の手腕は業界では伝説の人物となっています。

金子を題材にした城山三郎著「鼠」と、玉岡かおる著「お家さん」があり、私利私欲のない人物像や彼の商才がよく表現されています。

議会だより編集委員

藤崎 源彦